

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【公表番号】特表2011-514335(P2011-514335A)
 【公表日】平成23年5月6日(2011.5.6)
 【年通号数】公開・登録公報2011-018
 【出願番号】特願2010-547641(P2010-547641)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)
 A 6 1 P 37/06 (2006.01)
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)
 A 6 1 P 31/12 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 0 7 K 14/715 (2006.01)
 C 0 7 K 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 37/06
 A 6 1 P 11/00
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 C 0 7 K 14/715
 C 0 7 K 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月15日(2012.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

IL - 25 による IL - 17RA - IL - 17RB ヘテロマー受容体複合体の活性化が部分的にまたは完全に阻害されるように、少なくとも IL - 17RA および IL - 17RB を発現している細胞を、IL - 17RA - IL - 17RB アンタゴニストに曝露する工程を含む、IL - 17RA - IL - 17RB ヘテロマー受容体複合体の活性化を阻害する方法。

【請求項2】

IL - 17RA - IL - 17RB アンタゴニストが抗原結合タンパク質である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

抗原結合タンパク質が IL - 17RA - IL - 17RB ヘテロマー受容体複合体またはそのサブユニットに結合する、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

IL - 17RA - IL - 17RB ヘテロマー受容体複合体の形成が部分的にまたは完全に阻害される、請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

少なくとも1つの炎症促進性仲介因子の放出が部分的にまたは完全に阻害される、請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

炎症促進性仲介因子が：IL - 5、IL - 6、IL - 8、IL - 13、CXCL1、CXCL2、GM - CSF、G - CSF、M - CSF、IL - 1、TNF、RANK - L、LIF、PGE2、IL - 12、MMP3、MMP9、GRO、およびNOからなる群より選択される、請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

IL - 25によるIL - 17RA - IL - 17RBヘテロマー受容体複合体の活性化が部分的にまたは完全に阻害されるように、少なくともIL - 17RAおよびIL - 17RBを発現している細胞を、IL - 17RA - IL - 17RBアンタゴニストに曝露する工程を含む、in vivoでIL - 17RA - IL - 17RBヘテロマー受容体複合体の活性化を阻害する方法。

【請求項 8】

IL - 17RA - IL - 17RBアンタゴニストが抗原結合タンパク質である、請求項7に記載の方法。

【請求項 9】

抗原結合タンパク質がIL - 17RA - IL - 17RBヘテロマー受容体複合体またはそのサブユニットに結合する、請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

IL - 17RA - IL - 17RBヘテロマー受容体複合体の形成が部分的にまたは完全に阻害される、請求項7～9のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

少なくとも1つの炎症促進性仲介因子の放出が部分的にまたは完全に阻害される、請求項7～10のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

炎症促進性仲介因子が：IL - 5、IL - 6、IL - 8、IL - 13、CXCL1、CXCL2、GM - CSF、G - CSF、M - CSF、IL - 1、TNF、RANK - L、LIF、PGE2、IL - 12、MMP3、MMP9、GRO、およびNOからなる群より選択される、請求項11に記載の方法。

【請求項 13】

IL - 17RA - IL - 17RBアンタゴニストを、自己免疫または炎症性疾患に罹患した個体に投与する、請求項7～12のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

自己免疫または炎症性疾患が、急性呼吸器障害症候群（ARDS）、呼吸窮迫症候群、気管支炎、ならびに呼吸器合胞体ウイルス（RSV）、パラインフルエンザウイルス（PIV）、ライノウイルス（RV）およびアデノウイルスなどのウイルス誘導性状態と関連する気道過敏症からなる群より選択される、請求項13に記載の方法。

【請求項 15】

IL - 17RA - IL - 17RBアンタゴニストが、自己免疫または炎症性疾患の徴候および/または症状を部分的にまたは完全に減少させるかまたは軽減する、請求項13または14に記載の方法。